



平成24年7月13日

	観光振興課
担当者	浦津、吉田
内線	2645
ダイヤルイン	895-2645

「長崎県観光動向調査」について

本県の平成24年1～3月期における観光動向について、
別添のとおりまとめましたので、お知らせいたします。



長崎県観光動向調査 (平成24年1～3月分)

主要指標

平成24年1～3月

	対象施設	延宿泊客数 利用者数	H24-H23比較	
			増減率	増減数
主要宿泊施設	164	918千人	+6.1%	+53千人
主要観光施設	25	1,401千人	+7.2%	+94千人

概況

主要宿泊施設の宿泊客数は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による大幅な減少から持ち直し、1～3月期全体では対前年同期+6.1%と大幅に増加となった。なお、震災発生前の平成22年と比較しても+2.1%となった。

主要観光施設の利用者数は、一部の屋外施設では悪天候による減少がみられたものの、東日本大震災の影響による減少から持ち直しの動きがみられたことや、施設のリニューアル効果などから、1～3月期全体では対前年同期+7.2%と大幅に増加した。

ブロック別の主な増減要因

【長崎・西彼ブロック】

ランタンフェスティバル期間中の悪天候により観光客が減少したものの、東日本大震災の影響による減少から持ち直しの動きがみられたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+5.3%と増加し、平成22年と比較しても震災発生以前の水準となった。

【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

東日本大震災の影響から持ち直しの動きがみられたことに加え、新規アトラクションを追加したハウステンボスの集客が大幅に増加したことから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+11.2%と増加し、平成22年と比較しても+8.8%と大幅増加となった。

【平戸・松浦ブロック】

東日本大震災の影響による減少から回復の動きがみられたものの、松浦市において、一部宿泊施設のビジネス客が減少したため、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比2.7%となった。

【諫早・大村ブロック】

スポーツ団体など団体宿泊客の利用増加や、ビジネス客の増加により宿泊客が大幅に増加し、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+7.9%となった。

【島原半島ブロック】

悪天候の影響や、一部の宿泊施設の閉館があったものの、団体客の長期滞在、ツアー客の増加などにより、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+0.3%となった。

【五島ブロック】

2月に開催された五島椿まつりへのツアー客の増加に加え、ビジネス利用の増加がみられたことから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+17.1%と前年を大きく上回った。

【壱岐ブロック】

宿泊施設の改装に伴う休業に加え、ビジネス客の減少により、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比18.2%となった。

【対馬ブロック】

東日本大震災により、対馬 釜山間航路の一時運休など大きな影響を受けたが、その後、対馬 釜山間航路の新規参入により韓国人観光客を中心に大幅に増加したため、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+37.6%と前年を大きく上回り、平成22年と比較しても17.8%と大幅に増加した。

(参考) 外国人観光客の動向(ご協力いただいた施設のためのサンプル調査)

外国人観光客は、国内観光客に比べ、東日本大震災の影響による減少から回復がやや遅れているものの、前年から引き続き回復傾向を続けており、1～3月期全体の外国人宿泊客数は対前年同期比4.0%となった。

